



大江田家資料目録

太宰府市公文書館

文書群名 太宰府市水城 大江田家資料
年 代 近世中後期～明治期
数 量 35 件 (83 点)
收藏形態 寄託資料
内 容 大江田家は、近世期には太宰府天満宮の社家をつとめ、
権堂坊と称した。

天興寺寺号移転及び寺号改称に関する史料が大部分を占め、明治初頭における神仏分離以後の寺の動向について知り得る好個の史料である。このほかに、「自作社家分田畠畝高名寄帳」など太宰府天満宮の自作社家の名寄帳があり、社家の農業経営の実態をうかがうことができる数少ない史料となっている。

関連文献

『太宰府市史 近世資料編』太宰府市、1996 年、16-17、323-376 頁

『太宰府市史 通史編 II』太宰府市、2004 年、611-612 頁

検索手段

『福岡県古文書等緊急調査報告書(旧筑紫郡)』福岡県文化会館、1982 年、121 頁

閲覧条件 寄託者の許可を必要とする

複写条件 寄託者の許可を必要とする

大江田家資料目録

2014年4月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
1	[名奇帳]	明和9年辰3月	自作社家中	津田源治郎	太宰府社家分の名寄帳、人別に年貢地の地目、地字、地位、反別、石高など書き上げ、奥書あり	縦帳	1	表紙欠
2	辞令綴	明治27年1月至大正8年4月	大江田安雄		明治27年～大正8年にかけての、大江田安雄の諸職辞令綴	綴	1	
3	太宰府廿四詠	明治17年5月16日	吉嗣達太郎編		太宰府周辺の名跡・名勝などを詠んだ歌集、挿絵あり	縦帳	1	出版人・藤井孫次郎、発兌・暗香舎
4-1	菊池風土記 巻一、巻二				江戸期の菊池の名跡、名勝などを編纂した地誌	縦帳	1	
4-2	菊池風土記 巻三				江戸期の菊池の名跡、名勝などを編纂した地誌	縦帳	1	
5	優艶紅葉錦	(嘉永3年)	津山直七保則		年中行事に関する解説書、後部に「歳時故事略」(津山岩三郎保之)あり	縦帳	1	表紙に「諸富氏」とあり
6	文武方日記	明治2巳年5月ヨリ	藤本文太夫、園田可一郎、諸富忠左衛門		5月～9月にかけての文武方における日記、調練会開催の日時・内容などを記す、兵隊・写物方の名簿あり	縦帳	1	
7	人民調子帳	明治5年壬申9月	副戸長・楠太三郎		御井郡第五区荒瀬村にける宝満宮氏子について、人別に出生年月日、父名、続柄、名前についての書き上げ	縦帳	1	
8	宣旨写	明治3年～明治22年	浦和県他		諸富虎之助、干城、保義に対する辞令の写し	縦帳	1	
9	南関記 全	宝永丙戌3月20日	井沢長秀		内題「南関記聞」、大津山氏の関する軍記物	縦帳	1	
10	西京浪華予州記	明治元年～明治8年	諸富保定		内題「名所等見物控」、京都、愛媛、大坂への紀行文	縦帳	1	
11	筑後民間孝子伝 前編下	文化5戊辰年4年	宮原國綸文進		筑後の民間孝子(小頭町伊兵衛、瀬下町又吉妻、干潟村嘉三郎ら)27名の孝行伝	縦帳	1	中橋通百貫町・大坂書林・扇屋利助
12	絵本武勇鑑 全		諸富□□□		源義経八艘飛びカ、「佐々成政降参の図」、「加藤清正本山弾正を討図」などの武者絵	縦帳	1	巻末に「清養堂 津山氏什物」とあり、写本
13	長崎夜話草 四				長崎における伝承・夜話	縦帳	1	「久留米三本松茶屋八兵衛」の印あり
14	絵本楠公記 二編				「越智八郎最期の躰」、「植林孫十郎討死躰」、「熊竹丸勇戦躰」など楠木正成にまつわる武者絵	縦帳	1	巻頭に「清養堂 津山」とあり、写本
15	[絵本川中島]				川中島合戦に関する武者絵	縦帳	1	
16	授業料領収証	明治21年度		高等科第二年度・本山芳雄	11月から翌年1月までの高等科授業料の領収書	一紙	1	封筒入

大江田家資料目録

2014年4月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
17	正統皇朝史略字解	明治13年1月24日 版權免許（明治14年8月刻成）	編輯人・丹羽駒吉、出版人・梶尾勘助		初代神武～107代後陽成までの歴代天皇の略歴など	縦帳	1	ブックカバーあり
18	北征日誌 第一～第七	明治元年戊辰秋九月	御用御書物方・寺町五條上ル所・額田正三郎		戊辰戦争に関する戦記	縦帳	7	水損につき展開不能
19	〔石井明道士〕				権八一代記「平井権八由緒之事」、「本庄太郎、弟助太郎返り討之事」「遊女小紫の事」、「権八絹売弥市を殺す事」など	縦帳	1	
20	釈文十七帖・二礼千字文 全	弘化三年丙午秋七月			十七帖（唐の太宗皇帝の貞観中に作成された帖）の釈文、二礼千字文（千字文を楷書草書並べて記した手本）	縦帳	1	諸富保之による写し（年月日は書写年）
21	孟子 三				孟子巻七～十	縦帳	1	
22	義民佐倉実記 三				佐倉惣五郎の伝記	縦帳	1	
23	田畑宅地櫛山反別取調帳		大江田美鋤		田畑・櫛山・宅地の面積、等級、地価、地租などを記した帳面	縦帳	1	一ツ綴・こより、裏表紙にも記載あり
24	草創日記写		太宰府神社		常行堂、宝塔院などの別院・御堂が、何時、誰の御願により建立されたかを記し、日別神供が開始された年代も記す、『安楽寺草創日記』からの写カ	縦帳	1	一ツ綴・平紙紐、朱墨による汚れあり
25-1	寺号改称許可願	(明治期39年カ)	住職、信徒総代、法類、本寺	地方庁宛		綴	1	3-1～3-10は同一綴で天興寺寺号改称・移転関連書類、端書に墨書と鉛筆書きにて「当分不用」とあり
25-2	寺号改称願	明治39年	住職、信徒総代		福岡県三池郡開村大字北新開浄土宗天興寺の寺号改称願の雛形	綴	1	
25-3	寺号改称願	明治39年	住職、信徒総代		福岡県三池郡開村大字北新開浄土宗天興寺の寺号改称願の雛形	綴	1	
25-4	寺号改称願	明治39年	住職、信徒総代		福岡県三池郡開村大字北新開浄土宗天興寺の寺号改称願の雛形	綴	1	

大江田家資料目録

2014年4月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
25-5	[記]	明治39年12月	右寺(天興寺)兼務住職一田賢翁、右寺信徒総代海谷虎吉・末吉惣太郎・海谷松蔵、法類円応寺住職蒲聖源・光樹寺住職永瀬哲哉、本寺来迎寺住職筑場哲祐		福岡県三池郡開村大字北新開浄土宗天興寺の移転に際し、本尊・境内地・本堂・庫裡の処分について記す	綴	1	端書に「内ノ控へ」と墨書あり
25-6	寺号移転許可願	(明治39年カ)	右寺(天興寺)兼務住職一田賢翁、右寺檀徒総代3名、法類引接寺住職渡辺義存、本寺来迎寺住職筑場哲祐、移転発起者、移転地予約信徒総代3名、福岡県筑紫郡日佐村大字横手正法寺住職軍島鳳進	福岡県知事河島醇殿	福岡県三池郡開村大字北新開浄土宗天興寺の筑紫郡太宰府菅谷への移転許可願雛形	綴	1	端に「元書」と墨書、「二通、縣□□□控」と鉛筆書きあり
25-7	寄附約定書	明治39年	地所寄附者大江田美鋤他5名、建物寄附者江上隼人他3名、保証人古賀儀平、予約信徒総代大江田美鋤他6名、組寺総代軍嶋鳳進		天興寺移転が許可された上は同寺永続費として宅地・山林・本尊・本堂などの物件を寄附する旨の約定書雛形	綴	1	端に「第二號書」と墨書あり
25-8	寄附約定書	(明治39年カ)	地所寄附者、建物寄附者、保証人、予約信徒総代、組寺総代		天興寺の移転許可後、宅地・山林・本尊・本堂などの物件を同寺永続費として寄附する旨の約定書の下書	綴	1	鉛筆書きにて地番・持主などの書込あり
25-9	添書下附願	明治39年	右寺(天興寺)兼務住職権少僧都一田賢翁、信徒総代、移転発起者、移転地信徒総代、組長正法寺住職軍島鳳進、支所長	浄土宗管長大僧正山下現有殿	天興寺寺号移転許可出願につき移転承認の添書下付願の下書	綴	1	鉛筆による書込あり、端に「二通送付ヲ要ス」と鉛筆書きあり、

大江田家資料目録

2014年4月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
25-10	由緒	(明治35年以降の明治期カ)			菅公御遺物として往古より太宰府神社内に安置されてきた聖観世音菩薩像の由緒と、明治維新の際に神仏混交の禁令が發布された後の同像の保存経緯について記す	綴	1	
26	崇信会員募集簿	明治40年7月	筑前国筑紫郡太宰府町天興寺崇信会		崇信会を組織した趣旨(安楽寺を再興し、菅公の御遺物である観音像を安置する)と会則を記す	縦帳	1	その他・こより
27	観音堂再建諸事控帳	明治36年卯5月			観音堂再建のための借入金・寄附金などのほか、入用諸品代金などの費用について記した帳面	横帳	1	一ツ綴・こより、に「江上」と朱印二顆あり
28-1	証	明治11年10月29日	第五大学区三十四中学区太宰府小学	大江田安雄	下等小学第七級卒業の証書	一紙	1	「太宰府小学」「中」の朱印あり
28-2	[卒業証書]	明治17年4月2日	福岡県御笠郡太宰府小学校	大江田安雄	小学科第六年前記卒業の証書	一紙	1	「太宰府小学校」「上等」の朱印、「□業証」の割印(朱)、「第三号」と朱書あり
28-3	[卒業証書]	明治17年12月7日	福岡県御笠郡第三番学区太宰府小学校	大江田安雄	中等小学科卒業の証書	一紙	1	「太宰府小学校」の朱印、「□業証」の割印(朱)あり
28-4	[卒業証書]	明治16年8月	福岡県御笠郡小学校	大江田安雄	小学科第五年后期卒業の証書	一紙	1	「太宰府小学校」「優等」の朱印あり
28-5	証	明治15年7月7日	福岡県御笠郡太宰府小学	大江田安雄	中等小学科卒業の証書	一紙	1	「太宰府小学校」「下」の朱印あり
28-6	[卒業証書]	明治18年6月21日	福岡県御笠郡公立御笠中学校	大江田安雄	初等中学科第七級卒業の証書	一紙	1	「第六號」と朱書あり、「御笠中学之印」、「□笠中□之印」(割印)の朱印あり
28-7	[卒業証書]	明治16年2月	福岡県御笠郡第三番学区小学校	大江田安雄	小学科第五年前期卒業の証書	一紙	1	「太宰府小学校」「優等」の朱印あり
28-8	[卒業証書]	明治18年4月19日	福岡県御笠郡第三番学区太宰府小学校	大江田しげ	小学科第二年后期卒業の証書	一紙	1	「太宰府小学校」の朱印、「□業証」の割印(朱)あり
29-1	領収證	明治39年9月17日	筑後教務支所(朱印)	等外天興寺兼務住職申請者一田賢翁	金十四銭(基本金として)の領収書	綴	1	二ツ綴・こより、「筑後小教区教務支所」「堤」の朱印、「筑後教務支所」の割印(朱)あり、7-1~7-25までは同一綴

大江田家資料目録

2014年4月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
29-2	[葉書]	(明治) 39年10月11日	筑後教務支所長堤善学 (朱印)	福岡市博多芥屋町観音寺住職一田賢翁殿	天興寺兼務住職申請について、予め兼務住職差置の出願を要すので、正規に準じ出願致すべき旨を通達	綴	1	「筑後教務支所長之印」の朱印あり
29-3	[通達]	明治39年10月13日	筑後教務支所長堤善学 (朱印)	一田賢翁殿	天興寺寺号移転添書・願について、別紙の通り照会致したい件があるので、具状を提出すべき旨通達、また、本願書一通を支所備付のため至急提出すること	綴	1	「筑後教務支所長之印」の朱印あり
29-4	[通達]	明治40年2月25日	筑後教務支所 (朱印)	一田賢翁殿	天興寺兼務住職差置許可書及び同寺移転願書の添書は全て送付したとの通達	綴	1	「筑後小教区教務支所」の朱印あり
29-5	[通達]	明治40年2月5日	浄土宗管長大僧正山下現有 (朱印)	天興寺	天興寺に明治43年2月1日まで兼務住職を差し置くことを許可する旨通達	綴	1	「浄土宗管長章」の朱印あり
29-6	[書上]	(明治期)			福岡県筑後国三池郡開村大字北新開字施餓鬼田浄土宗天興寺の本尊・由緒・本道・庫裡・境内・信徒数などを書き上げたもの	綴	1	端書に「三十年九月二日編入許可」と墨書あり
29-7	[書上]	(明治期)			福岡県三池郡開村大字北新開字施餓鬼田浄土宗天興寺の移転に関して売却処分する境内地・本堂・庫裏などを書き上げたもの、また本尊観世音菩薩像を同寺移転後も同地に置く証書を付記	綴	1	
29-8	[書上]	明治39年	右寺 (天興寺) 兼務住職一田賢翁 (朱印)、右寺信徒総代海谷虎吉 (朱印)・末吉惣太郎 (朱印)・海谷松蔵 (朱印)、法類光樹寺住職永瀬哲哉 (朱印)、本寺来迎寺住職筑場哲祐 (朱印)		福岡県三池郡開村大字北新開字施餓鬼田浄土宗天興寺移転につき、本尊・本堂・庫裡・境内地を福岡県三池郡開村大字北新開海谷虎吉・末吉惣太郎・海谷松蔵へ譲渡する旨を記した承認願書	綴	1	丁間に割印 (朱印) あり

大江田家資料目録

2014年4月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
29-9	〔書上〕	明治39年	右寺(天興寺)兼務住職一田賢翁(朱印)、右寺信徒総代海谷虎吉(朱印)・末吉惣太郎(朱印)・海谷松蔵(朱印)、法類光樹寺住職永瀬哲哉(朱印)、本寺来迎寺住職筑場哲祐(朱印)		福岡県三池郡開村大字北新開字施餓鬼田浄土宗天興寺移転につき、本尊・本堂・庫裡・境内地を福岡県三池郡開村大字北新開海谷虎吉・末吉惣太郎・海谷松蔵へ譲渡する旨を記した承認願書	綴	1	端書に「第一號書」と墨書あり、丁間に割印(朱印)あり
29-10	寺号移転許可願	(明治30年代)	右寺(天興寺)兼務住職一田賢翁、移転発起者江上隼人(朱印)・市川全稔(朱印)、移転地予約信徒総代大江田美鋤(朱印)・宮本嚴昌(朱印)・吉村齋(朱印)・吉田房吉(朱印)・江寄弥寿計(朱印)・宮寄全寛(朱印)・鹿児島徳兵衛(朱印)		福岡県三池郡開村大字北新開浄土宗天興寺の移転許可願の雛形	綴	1	
29-11	〔図面〕	(明治期)			天興寺の図面カ	綴	1	
29-12	寺号改称許可願	明治40年	右寺(天興寺)兼務住職一田賢翁、信徒総代大江田美鋤・宮本嚴昌・吉村齋・吉田房吉・江寄弥寿計・宮寄全寛・鹿児島徳兵衛・蒲聖源・筑場哲祐		福岡県筑紫郡太宰府町大字太宰府菅谷浄土宗天興寺の寺号改称願の雛形	綴	1	
29-13	〔通達〕	明治40年5月1日	福岡県知事寺原長輝	三池郡開村大字北新開浄土宗天興寺	三池郡開村大字北新開浄土宗天興寺の筑紫郡太宰府町への移転・本尊増加許可の写し	綴	1	墨書にて「兵第一七一二號」と端書あり

大江田家資料目録

2014年4月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
29-14	〔礼状下書〕	(明治期) 5月6日	大江田美鋤	一田賢翁殿	天興寺移転につき、一田賢翁の尽力に対する礼及び太宰府神社との関係については過日交渉	綴	1	
29-15	〔書上〕	(明治期)			燭台・花瓶・大三宝・香爐などの書上、本堂のスケッチあり	綴	1	
29-16	〔書状〕	(明治期)		一田君	岩井君御廻教について、時日切迫にて諸準備が整わないので、今回の開会は見合わせる旨を書き残した書状	綴	1	端に「書残ノ事」と墨書あり
29-17	趣意書	(明治期)			菅原道真公の護念持仏を安置するために天興寺寺号を移転し安楽寺を再興する、この事業を行うために崇信会を組織する旨の趣意書の下書	綴	1	
29-18	〔書状〕	(明治) 40年6月29日	一田賢翁	大江田・江上其他御中	天興寺移転に際する寄附金について相談致したき旨の書状の下書	綴	1	本文は鉛筆書き、日付・差出・宛名は墨書
29-19	趣意書	(明治期)			菅原道真公の護念持仏であった観音菩薩像を安置するために天興寺を移転し安楽寺を再興する、このために崇信会を組織する旨の趣意書の下書	綴	1	
29-20	崇信会則	(明治期)			崇信会々則(第1条～第8条)の下書	綴	1	
29-21	土地売却登記申請ニ付添書下附願	明治40年8月	右寺(天興寺)兼務住職少僧都一田賢翁、右寺信徒総代大江田美鋤・宮本嚴昌・吉村齋、組長正法寺住職軍島鳳進	浄土宗管長大僧正山下現有殿	天興寺移転前の境内敷地(福岡県三池郡開村大字北新開字施餓鬼田五百八十壺番地)を売却すべく登記申請したところ、管長の添書を添付する必要があるので、添書を御下附下さいますようにとの願の控	綴	1	朱書にて「控」と端書あり
29-22	添書下付願	明治41年	右寺(天興寺)兼務住職一田賢翁(朱印)、右寺信徒総代大江田美鋤(朱印)・宮本嚴昌(朱印)・吉村齋(朱印)、福岡小教区筑紫組長正法寺住職軍島鳳進(朱印)	浄土宗務所御中	天興寺寺号改称出願に際する添書御下附願	綴	1	綴より離脱している、7-21の史料と7-23の史料の間に挿入されている史料

大江田家資料目録

2014年4月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
29-23	御届	明治40年8月	右寺(天興寺)兼務住職一田賢翁、移転発起者江上隼人・市川全稔、右寺信徒総代大江田美鋤・宮本嚴昌・吉村齋・吉田虎吉・江寄弥寿計・宮崎全寛・鹿兒島徳兵へ、組長正法寺住職軍島鳳進	浄土宗務所御中、第八教務所御中	本年6月11日に天興寺が福岡県三池郡開村大字北新開から同県筑紫郡太宰府町大字太宰府へ移転した旨の御届の下書	綴	1	
29-24	[通達]	明治40年5月1日	福岡県知事寺原長輝	三池郡開村大字北新開浄土宗天興寺	三池郡開村大字北新開浄土宗天興寺の筑紫郡太宰府町への移転・本尊増加許可の写し	綴	1	墨書にて「兵第一七一二號」と端書あり、7-13と同じ内容
29-25	御届	明治40年8月	右寺(天興寺)住職一田賢翁、移転発キ者江上隼人・市川全稔、右寺信徒総代大江田美助外6名、組長正法寺住職軍島鳳進	太宰府町長殿、筑紫郡長殿、福岡県知事寺原長輝殿	天興寺が6月11日に筑紫郡太宰府町大字太宰府字菅谷八百六十六番地、八百七十二番地、八百七十三番地へ移転した旨の御届の下書	綴	1	
30	恩給請求書	明治39年6月19日	元第五師団第十二兵站司令部福岡県筑紫郡太宰府町大字太宰府千二百三十二番地土族陸軍歩兵曹長勳八等大江田安雄(朱印)	第十二師団長井上光殿	陸軍服役と文官奉仕について恩給請求書	一紙	1	「大江田」の印あり、太宰府町役場発行の受付書貼付
31	詩経 上	明治18年12月上旬	大江田安雄 書		国風一(周南一之一~豳一之十五)について記す	竖帳	1	三ツ目綴・こより
32	崇信会則	(明治期)	筑前国筑紫郡太宰府町天興寺崇信会		天興寺崇信会の会則(第1条~第9条・補則)を記す	一紙	1	
33	反別地価帖	(明治期)	大江田美鋤		大江田美鋤所有地の反別地価台帳(修正・付加の朱書あり)	綴	1	一ツ綴・黒紐、1997年2月10日大江田洋氏来室に際し持ち込み、その際の聞き取りのメモあり
34	[版本]	(近代)			太宰府神社/御境内全図/暗香社	木	1	拓本2枚(うち1枚は裏打)あり
35-1	[素焼皿]	(明治期)	博多 岡平蔵		「帝国萬歳」と銘あり	陶器	1	
35-2	[素焼皿]	(明治期)	博多 岡平蔵		「帝国萬歳」と銘あり	陶器	1	

大江田家資料目録

2014年4月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
36-1	〔木箱〕	(近代)				箱	1	36-2～36-5までを納める
36-2-1	〔包紙〕	(近代)			包紙上書「御衣寸方 宮小路 克三郎（朱印）」	一紙	1	36-2-2を包む
36-2-2	〔麻紐〕	(近代)				紐	4	
36-3	〔採寸表〕	(近代)				一紙	1	
36-4-1	〔布製袋〕	(近代)			袋内側に「不許他伝/御神輿 鍵/権藤職江相渡置者也/宮師 坊現住快鉄」とあり	袋	1	36-4-2を納める、「御神輿 鍵」（墨書）のこより
36-4-2	〔鍵〕	(近代)			付属の木札に「観世音」「内 陳鍵」とあり	鍵	1	
36-5	〔まな板〕	(近代)				板	1	